

日本国際協力センターと地方自治・都市計画省との協力計画立案へ

ジュムア・アハマド・アル＝カアビー地方自治・都市計画大臣は「地方自治・都市計画省と日本国際協力センターが協力計画を立案することを合意した。その主な分野としては、①農業や農地及び地下水不足の中での開発技術、②廃棄物処理などである」と述べた。

この合意は、昨日 2013 年 8 月 25 日 日曜日の午前に行われた日本国際協力センターの山野幸子理事長と研修事業部国際研修課の清水丈司氏との会談中になされた。

また、アル＝カアビー大臣は、ハマド・ビン・イーサ・アール・ハリーフア国王やサルマン・ビン・ハマド・アール・ハリーフア皇太子が日本を訪問したことで両国の友好関係を深めることができたと共に、開発分野における協力の新たな可能性を開き、両国の歴史的な絆をより強固にしたと述べた。更に、都市計画省がハリーフア・ビン・サルマン・アール・ハリーフア首相の指示の下、日本側との共同計画を実施すること、また、地方自治・都市計画省で構成されたチームが日本国際協力センターを訪問し農業における日本の経験や技術を学び、両国の農業・都市計画などの協力を拡大し、両国の発展の実現につなげていく旨を述べた。

また、アル＝カアビー地方自治・都市計画大臣は今回の安倍首相をはじめとした日本代表団の訪問が両国の協力的な関係を裏付けており、また、両国の 40 年間にわたる外交関係や地域・世界の課題に対する関心や役割を基盤に、国際協力を通じてお互いの国民の豊かな暮らしを実現させることを重視している旨を述べた。